様　式　E

平成27年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　項:01　営業費用　目:40　運転費 節・細節: 40　修繕費	所属: 運転課 担当者: 種村

（単位:千円）

	27年度　A	26年度　B	増減(A−B)
予　算　額	690	484	206
決　算　見　込	−	584	ー

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　既存備品の修理	690

（1　事業目的・内容）

1　起床装置の修理
総合司令所で使用している起床装置（個人型）について、タイマー故障などが発生していることから修理を行います。

2　司令員用椅子修理
総合司令所の司令員は、列車の運行時間帯は常時司令卓の椅子に着座し、必要に応じて運転士等との無線交信・指示を行う運行管理業務に従事しております。司令員の心身負担軽減の一助として、椅子は一般事務用よりも安定性等に優れた特別の製品を採用しています。
平成23年度にその1台で高さ等の状態を保つために装填しているガスが漏れる故障が発生し、予算要求時には想定していなかった出費を余儀なくされました。今後、経年劣化で他の椅子でも同様の故障が予測されることから、これにかかる費用を計上します。

3　各種操作端末修理
総合司令所で管理している各種操作端末について、経年劣化から故障の発生が危惧されます。これら端末はお客様への情報提供などを管理しているものであり、故障のまま放置することは旅客サービスの低下に直結することから修理費用を計上します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、「現場の意見」 等）

様　式　E

平成27年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　　項:01　営業費用　　目:40　運転費 節・細節: 40　修繕費	所属: 運転課 担当者: 種村

（単位:千円）

	27年度　A	26年度　B	増減(A−B)
予　算　額	2,914	1,801	1,113
決　算　見　込	−	2,944	ー

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　既存備品の修理	2,914

（1　事業目的・内容）

1　起床装置の修理

各乗務管理所及び信号扱所では集中型起床装置を使用しており、各部屋の起床装置を制御部及びPCにて一括管理しています。また、各仮泊駅については起床装置（個人型）を使用しております。

これらの起床装置について、経年劣化により故障頻度が高くなっていることから修理費用を計上します。

2　アルコール測定器保守委託

高速鉄道の各運転士は、乗務点呼の際（乗務前及び乗務後）に呼気中のアルコール測定を行い、当局基準値未満であることを確認するとともにその記録を保存しています。

本測定器の精度を正確に保つこと及び信頼性の裏付けなどのため、専門業者と測定機器部分の補正を含む年間保守委託契約を締結します（各乗務管理所、各信号扱所及び各仮泊駅）

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、「現場の意見」 等）

様　式　E

平成27年度　修繕費　事業計画書

予算科目	担当
款: 02　高速鉄道事業費　　項:01　営業費用　　目:40　運転費 節・細節: 40　修繕費	所属: 運転課 担当者: 種村

（単位:千円）

	27年度　A	26年度　B	増減(A−B)
予　算　額	674	656	18
決　算　見　込	−	678	ー

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

（単位:千円）

【事業内容】	計画額
1　既存備品の修理	674

（1　事業目的・内容）

1　起床装置の修理

各乗務管理所及び信号扱所では集中型起床装置を使用しており、各部屋の起床装置を制御部及びPCにて一括管理しています。また、各仮泊駅については起床装置（個人型）を使用しております。

これらの起床装置について、経年劣化により故障頻度が高くなっていることから修理費用を計上します。

2　アルコール測定器保守委託

高速鉄道の各運転士は、乗務点呼の際（乗務前及び乗務後）に呼気中のアルコール測定を行い、当局基準値未満であることを確認するとともにその記録を保存しています。

本測定器の精度を正確に保つこと及び信頼性の裏付けなどのため、専門業者と測定機器部分の補正を含む年間保守委託契約を締結します（各乗務管理所、各信号扱所及び各仮泊駅）

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、「現場の意見」 等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 総務課 担 当 者 名: 堀籠

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	33	33	0

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	33	再生紙の購入（総務課一括購入）
合 計	33	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26年度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 総務課 担 当 者 名: 堀籠

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	102	102	0

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	102	再生紙の購入（総務課一括購入）
合 計	102	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26年度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 総務課 担 当 者 名: 堀籠

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増　減 A － B
予算額	62	62	0

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費	62	再生紙の購入（総務課一括購入）
合　計	62	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26年度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 職員課 担 当 者 名: 佐井

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	7,482	8,496	−1,014

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	6,649	運転費支弁職員に対する被服貸与分（新規採用・異動・定期貸与）・防寒コート追加貸与分
63 委託料	833	身体機能検査（高速鉄道本部分）
合 計	7,482	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成26年9月1日現在在籍職員数を基に人数比で按分

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 職員課 担 当 者 名: 佐井

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増　減 A － B
予算額	3,222	3,171	51

	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
50 被服費	2,874	運転費支弁職員に対する被服貸与分（新規採用・異動・定期貸与）・防寒コート追加貸与分
63 委託料	348	身体機能検査（高速鉄道本部分）
合　計	3,222	

（2 編成するにあたっての考え方）

平成26年9月1日現在在籍職員数を基に人数比で按分

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 運転課 担当者名: 種村

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	16,188	18,243	−2,055

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	2,583	腕章類更新、ドナー購入等
51 光熱水費	5,289	総合司令所等のガス・水道料金
57 通信運搬費	1,070	早期地震警戒システム、緊急地震速報配信委託等
58 印刷製本費	2,543	安全ポケットガイド、規程集類等
63 委託料	2,864	現場事務所及び仮眠室の清掃・運行情報提供業務ほか
64 手数料	257	第三級陸上特殊無線・ボイラー技能講習・電気工事士講習
65 賃借料	1,432	寝具・複写機
66 諸謝金	100	技術伝承研修会
96 雑費	50	異常時総合訓練経費
合計	16,188	

（2 編成するにあたっての考え方）

過年度実績のあるものは実績額に対し、物価上昇率（1.8%）及び税率を考慮し積算

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 運転課 担当者名: 種村

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	31,275	33,694	−2,419

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	7,255	標識類の購入、ダイヤ改正に伴う消耗品等
51 光熱水費	3,365	乗務管理所等のガス・水道料金
57 通信運搬費	420	電話料金、切手代
58 印刷製本費	4,604	列車運行図表、規程類集等
63 委託料	8,095	現場事務所及び仮眠室の清掃等
64 手数料	141	第三級陸上特殊無線・ボイラー技能講習講習等
65 賃借料	7,345	寝具・複写機・異常時総合訓練用音響機器
96 雑費	50	津波訓練経費
合計	31,275	

（2 編成するにあたっての考え方）

過年度実績のあるものは実績額に対し、物価上昇率（1.8%）及び税率を考慮し積算

（3 新規項目・主要事業等）

仮泊先における点呼をテレビ電話方式からネットワークカメラ方式に変更したことによる通信運搬費の削減（△753千円）
各駅掲出用時刻表の印刷を外注化（769千円）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 運転課 担当者名: 種村

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	12,116	13,334	−1,218

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
49 備消品費	2,040	ダイヤ改正に伴う消耗品、雪害対策用品等
51 光熱水費	203	川和信号扱所水道料金
57 通信運搬費	229	電話料金、切手代
58 印刷製本費	3,449	列車運行図表、時刻表印刷等
63 委託料	3,720	現場事務所及び仮眠室の清掃等
64 手数料	63	第三級陸上特殊無線講習等
65 賃借料	2,412	寝具・複写機
合計	12,116	

（2 編成するにあたっての考え方）

過年度実績のあるものは実績額に対し、物価上昇率（1.8%）及び税率を考慮し積算

（3 新規項目・主要事業等）

仮泊先における点呼をテレビ電話方式からネットワークカメラ方式に変更したことによる通信運搬費の削減（△315千円）
各駅掲出用時刻表の印刷を外注化（241千円）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 総合司令所 担 当 者 名: 牛田

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	471	421	50

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	207	小額物品購入費・文具一式
56 旅費	264	旅費（定例）,他社司令所見学旅費,無線技士講習会旅費,他部署との意見交換及び研修
合 計	471	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26度分の実績を基に算出しました。

（3 新規項目・主要事業等）

新規項目として、他部署との意見交換及び研修の旅費を計上しています。

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所属: 上永谷乗務管理所 担当者名: 関 新一

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	3,477	3,433	44

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
―	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
―	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	2,975	運転用品物品、事務及び衛管用備品購入経費
56 旅費	351	出張旅費
63 委託料	151	廃棄物処理
合 計	3,477	

（2 編成するにあたっての考え方）

49 備消品費　所内の物品類の老朽化対応のため積算項目を追加
56 旅費　昨年同様
63 委託料　H27年度分の廃棄物処理費用

（3 新規項目・主要事業等）

新規に物品の老朽化に対応するための項目を追加した
運転士に係るもの
事務所の従事環境に係るもの

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 新羽乗務管理所 担 当 者 名: 半田

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増　減 A － B
予算額	3,092	3,678	−586

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費	2,415	備消品の購入に係る経費
56 旅費	521	出張に係る旅費
63 委託料	156	廃棄物処理にかかる委託費用
合　計	3,092	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26度分の実績を基に算出しました。なお、旅費については、研修等の増を考慮して増額としています。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所 属: 川和乗務管理所 担 当 者 名: 鈴木 秀明

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増 減 A － B
予算額	1,777	1,722	55

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	1,286	備消品の購入に係る経費
56 旅費	491	出張に係る経費
合 計	1,777	

（2 編成するにあたっての考え方）

H26度分の実績を基に算出しました。
また、旅費については、実習生の1ヶ月分の通勤費を旅費で支出するという本年度の処理を踏まえて増額をいたしました。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所属: 電気課 担 当 者 名: 加藤

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増　減 A － B
予算額		1,207,675	

○	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
ー	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
43 動力費		運転用動力
合　計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・電力量単価の見直し
・26年度決算見込み（実績）を反映し、見直しをした。

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

平成27年度 経費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 40 運転費	所属: 電気課 担当者名: 加藤

（単位:千円）

	27年度 A	26年度 B	増減 A － B
予算額		290,524	

ー	ﾌﾞﾙｰﾗｲﾝ
○	ｸﾞﾘｰﾝﾗｲﾝ
ー	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積算額	積算項目
43 動力費		運転用動力
合計		

（2 編成するにあたっての考え方）

・電力量単価の見直し
・26年度決算見込み（実績）を反映し、見直しをした。

（3 新規項目・主要事業等）